

スギとヒノキの森林で間伐を体験する子どもたち＝亀山市関町坂下で



亀山で間伐体験

鈴鹿市漁業協同組合 山の問題などを認識しと鈴鹿森林組合(亀山 ようと四年前から行っ市)による「海と森をている活動。組合員と結ぶ交流事業」が十五日、その家族、地元の亀日、亀山市内であり、山市加太小の児童ら百沿岸部と山間部に住む二十人ほどが参加し人たちが間伐の体験なた。

どで親交を深めた。

漁協の参加者は鈴鹿川の水を通じて海と市白子港からバスなど山が密接にかかわってで亀山市関町坂下の森いることを知り、海と林へ移動。山間部の人

海と森の子ら交流

鈴鹿市漁協組と森林組のこぎりで木を倒す

たちと合流してスギやヒノキの間伐をした。六つの班に分かれた参加者たちは森林組合の人たちから間伐の意義や木の切り方、注意点を聞き、のこぎりで丁寧に切って倒した。今回は子どもたちの参加が多かった。慣れない手つきで懸命にのこぎりをひき、狙った方向に倒れると「やったあ」と歓声を上げ、倒した木の皮をはいで記念に持ち帰っていた。子どもたちは「思ったよりも難しいけど、木を切るの面白かった」「山の仕事も大変だと感じた」「木がたつぷりと水分を含んでいるので驚いた」と話していた。

森林組合の中川賢一組合長は「互いの仕事や課題を理解し合い、仲良く共存することが大切。今後も続けていきたい」と話していた。夏には海岸清掃などを予定している。

(村瀬力)

鈴鹿・亀山版

オフィスを変える力がある

三重リコーピー販売株式会社

●津・四日市・伊勢